

日野宿のお宝、日野用水

日野宿発見隊

江戸時代日野は、日野3千石と謳われた米どころでした。その豊かな米作りを支えてきたのが、日野用水。

佐藤隼人（現、上佐藤の先祖）が大勢の人足を使い、多摩川から掘削して水を引いたのです。40年も日野用水は、今も同じ所を流れ続けています。

日野宿の人々はそのおかげで豊かな財政力を築いてきました。

私たち日野宿発見隊は町のお宝の中でも、日野用水はもっとも重視してきました。

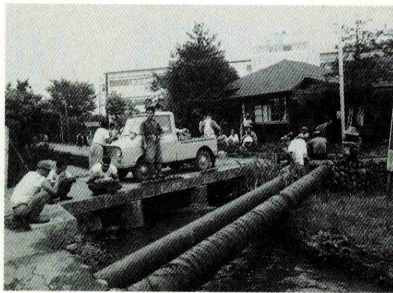
町中を滔々と流れ、水量も豊富であった日野用水をこの宿の人々は大切に守ってきたからです。生産としても生活の場としても日野用水は町の

山下堀（現いなげや日野駅前店付近）
昭和30年頃

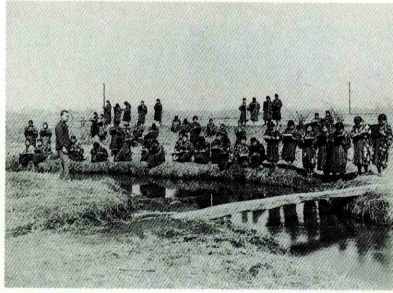


お宝です。

日野宿発見隊では大切な日野用水の歴史を学び、町の人々の思いを伝える活動を展開してきました。中でも昨年開催した「まちかど写真館inひの日野用水」は大変反響をよびました。今から50年前の日野



大門橋（現日野一小そば）
昭和40年代か 真野康

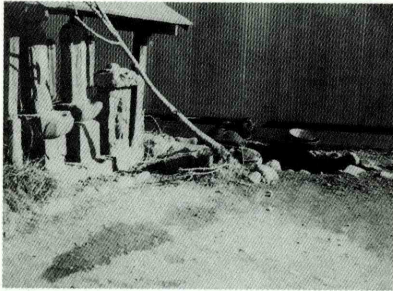


日野尋常高等小学校 校外授業
精進場（現日野一中西側）

用水の姿を写真を通して再現し、町の人々の記憶を甦らせました。

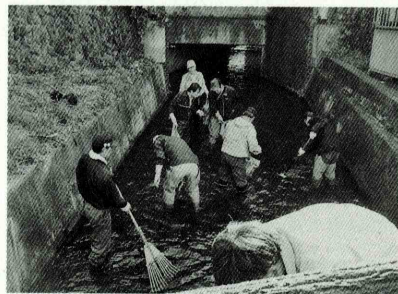
平成21年、日野用水の改修工事が進められ、用水は約30年ぶりに開渠されました。しかし昔の記憶の中にある用水とは違っていました。何度も住民と日野市が話し合いを重ねて、少しでも改良する方向を模索してきました。そして子どもが川に下りて遊べる親子水広場がようやく実現されたのです。

平成22年7月24日（土）用水が開渠された記念式典が行われました。私たち日野宿発見隊ではこの開渠された用水をみんなで清掃しようと川に

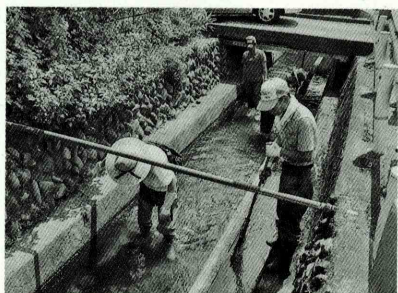


用水で洗い物
四ッ谷（現栄町天野眼科医院そば）

入りました。下宿（川崎街道より東）には思いのほか多くの魚がいました。鮎もいたのです。真夏の一番暑い時、ごみ袋は10袋以上にもなり、無事日野用水は美しくなりました。これからまた用水を守っていく人々の生活が始まりました。



用水清掃
(2009・11・28)



用水清掃
(2010・7・24)

日野宿発見隊事務局
日野図書館 渡辺

緑の募金

ご協力ありがとうございました

（助）日野市環境緑化協会と市の共催で4月、5月を推進期間として行なった緑の募金は、皆様のおかげで昨年を上回ることができました。

この募金は緑化の推進を目的に行われ、募金額の45%が各区市町村に交付され、（助）日野市環境緑化協会を通じ、まちの身近な緑化として、公共施設等の花壇用花苗購入等に活用させていただいております。（S・N）

合計 1,847,260円（8月31日現在）
内 訳

自治会=921,453円、老人クラブ=124,283円、市立小・中学校=10,170円、私立幼稚園・保育園=44,080円、団体・事業所=516,468円、一般・街頭募金=131,002円、市役所機関=99,804円